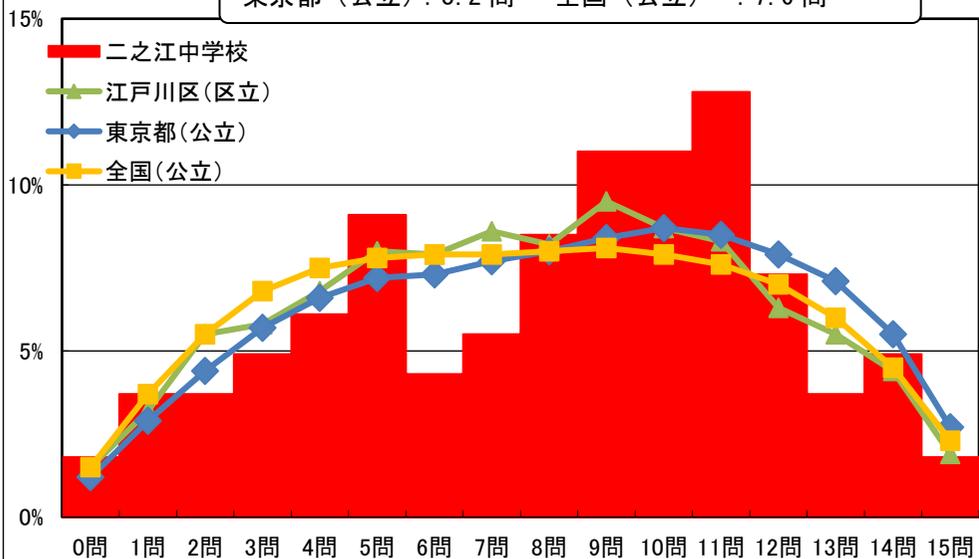


令和5年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【数学】二之江中学校

正答数分布

平均正答数

二之江中学校： 8.1 江戸川区（区立）：7.7問
東京都（公立）：8.2問 全国（公立）：7.6問



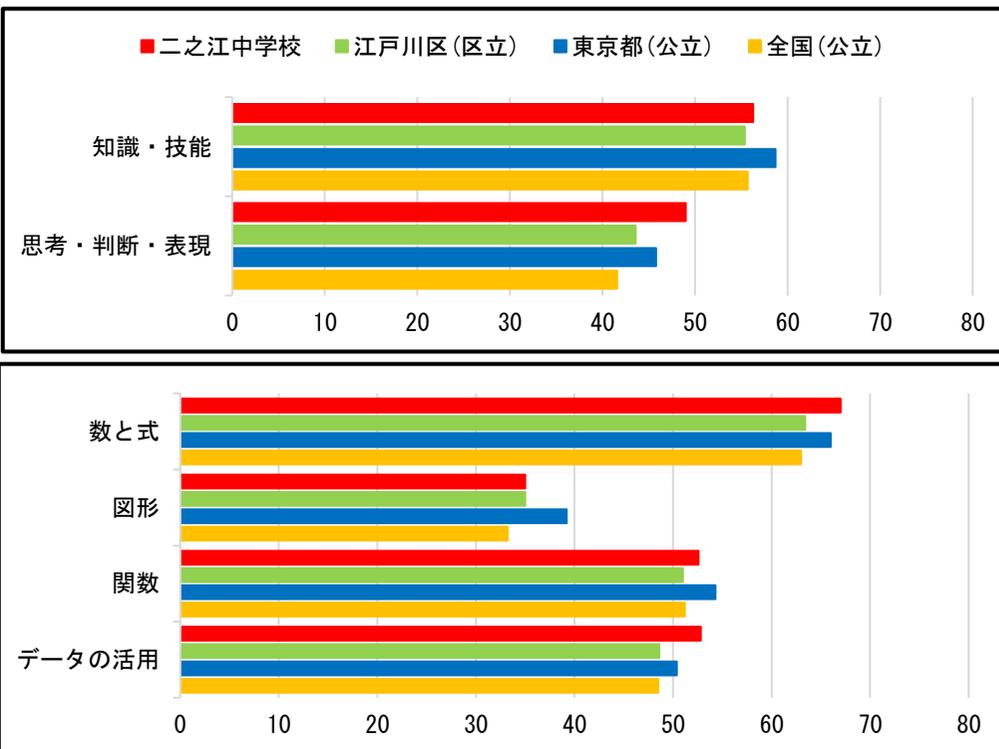
<四分位における割合(都全体の四分位による)>

上位 ← 下位

| 数 学 | 四分位 | | | |
|----------|--------------|-------------|------------|------------|
| | A層 11~15問 | B層 8~10問 | C層 5~8問 | D層 0~4問 |
| 二之江中学校 | 30.5 | 30.5 | 18.9 | 20.2 |
| 江戸川区（区立） | 18.1 | 26.5 | 24.7 | 30.7 |
| 東京都（公立） | 31.7 | 25.1 | 22.2 | 20.8 |
| 全国（公立） | 19.8 | 23.6 | 23.8 | 32.8 |

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都（公立）のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【平均正答率の差】

| | |
|----------|-------|
| 二之江中学校 | 54% |
| 江戸川区（区立） | 51% |
| 東京都（公立） | 54% |
| 全国（公立） | 51.0% |
| 都との差 | 0ポイント |

【分析結果と授業改善に向けて】

四分位を見ると、A・B層の合計は、東京都よりも上回り、観点においても思考・判断・表現が東京都よりも上回ることができた。この成果の要因として、コの字型・4人組グループ学習を継続し、個々で自分のペースで課題解決に取り組んだからだと考えている。課題としては、D層がC層よりも多くなっている点である。苦手としている生徒も学習の達成感をもてるようスモールステップの課題も用意することや放課後補習教室やドリルパークに取り組みせ、基礎基本の定着を図っていきたい。